






第13回 INAF 研究会 東アジアの平和を守ろう ウクライナ危機から学ぶべきこと

1.はじめに

小松社長からご案内を受けまして、元国連大使 谷口誠先生の「東アジアの平和を守ろう ウクライナ危機から学ぶべきこと」を拝聴させていただきました。

元国連大使 谷口誠先生からは、2022年5月19日 正義から道理へ 歩いたあとに道ができる 緊急 Zoom シンポジウム の際に ご講演を いただいております。 https://youtu.be/BtM_4gxogaY (17分)

今回は、1時間40分余りのご講演と、50分近くの質疑応答を賜りました。以下に報告させていただきます。

No.	内容	備考
00	 <p>第13回 INAF 研究会のご案内</p> <p>The 13th INAF Workshop</p> <p>演題：東アジアの平和を守ろう ウクライナ危機から学ぶべきこと</p> <p>主催：一般社団法人・東北亜未来構想研究所 (INAF)</p> <p>共催：一般財団法人・アジア・ユーラシア総合研究所 北東アジア研究交流ネットワーク (NEASE-NET)</p>	
	<p>日時：2023年3月25日(土) 14:00~16:00時 (オンライン、zoom)</p> <p>講演者：谷口 誠・アジア・ユーラシア総合研究所代表理事・INAF 最高顧問</p> <p>司会：羽場 久美子・INAF 副理事長</p> <p>谷口先生は日本の有数な外交官で、国連やOECDなど豊富な国際的な経験や知性をもとに、激動の世界の中の東アジアや日本の進むべき道について貴重なお話をされます。</p> <p>講演者略歴： 1930年大阪生まれ、一橋大学経済学部修士課程修了、英国ケンブリッジ大学セント・ジョンズ・カレッジ卒業 1959年 外務省入省、ユニセフ議長、1986年在NY日本政府国連代表部特命全権大使、 1990年 OECD 事務次長(日本人初) 早稲田大学アジア太平洋研究センター教授、岩手県立大学学長を歴任 現在 桜美林大学アジア・ユーラシア総合研究所代表幹事・北東アジア研究交流ネットワーク代表幹事、新渡戸国際塾塾長、受賞歴：2000年 瑞宝章(勲二等)受賞 著書：『21世紀の南北問題 グローバル化時代の挑戦』、『東アジア共同体—経済統合の行方と日本』等多数。</p> 	
01	 <p>講演前</p> <p>https://drive.google.com/file/d/1JdfvGR9_AfyxKIYR9qKGEoNwncKn4qmqj/view?usp=share_link</p>	
02	 <p>元国連大使 谷口誠先生 ご講演(1時間40分余り) 質疑応答(前半)(約15分)</p> <p>https://drive.google.com/file/d/1gq_qoo-GiI3GJUC4e7b_9FaNauGWW705/view?usp=share_link</p>	
03	 <p>質疑応答(後半)(約35分)</p> <p>https://drive.google.com/file/d/1xG85XINyKzHSjsrI0PjXezA90dkI4PLV/view?usp=share_link</p>	
04	<p>【所感】佐野 元国連大使 谷口誠先生のご講演を拝聴させていただきましたありがとうございます。日立で 社外監査役に就任されておられて経済に詳しいことも敬服いたしました。森嶋通夫先生の数理経済学の話も。近代の歴史認識の重要性を新ためて認識させられました。先日の上島嘉郎先生とは違った実績ある重みのあるお話を賜りまして感謝申し上げます。</p>	

事務局の録音データは、追って INAF 研究会から、ホームページにアップされるそうです。 以上